

1 平成28年度予算のポイント

平成28年度は、「国家戦略特区」への指定などの好機をしっかりと捉え、「北九州まち・ひと・しごと総合戦略」に基づき、「地方創生」のトップランナーを目指した政策を着実に推進していきます。

平成28年度予算はキャッチフレーズを「未来を拓く、まち・ひと・しごと創生予算」とし、重点的に取り組むべき「4つの柱」を掲げています。

「未来を拓く、まち・ひと・しごと創生予算」 4つの柱

① ものづくり、環境など本市の強みを活かした「しごと」を創出

「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマとして、本市が「国家戦略特区」に指定されることが決定しました。

特区に指定されたこの機会を最大限に活用し、「北九州市新成長戦略」を着実かつスピード感を持って推進することで、ものづくり、環境など本市の強みを活かした新たな雇用創出を図ります。

また、市民生活に身近な公共事業や消費喚起対策を実施することで、地域経済の活性化につなげていきます。

② 女性・若者の定着やアクティブシニアの移住など、新しい「ひと」の流れをつくる

本市に、新しい人の流れをつくり、活気あふれるまちにしていくため、北九州市版CCRC等による移住・定住の促進、若者の地元就職促進、女性の活躍推進などの取組みを積極的に推進します。

また、文化芸術・スポーツ・観光等の面において、シビックプライドを醸成する観点からも、数多くの誇れる地域資源を活かした取組み等を更に推進することで、にぎわいの創出につなげていきます。

③ 安心して子どもを産み育てることができる「まち」の実現

平成27年4月に本格的にスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、待機児童対策の推進等を図るとともに、乳幼児等医療費支給制度の拡充、子どもの貧困対策など、子育て環境の更なる充実に取り組みます。

また、「北九州市教育大綱」などに基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進します。

④ 健康で生き生きと安心して暮らせる「まち」の実現

健康で長寿の社会づくりを進めていくため、地域包括ケアシステムの構築など、地域の実情やニーズに応じたきめ細かな高齢者政策に取り組みます。

また、「北九州市安全・安心条例」に基づき、市民の防犯意識の高揚、犯罪を防止する環境整備等、防犯対策を進めるとともに、浸水対策などの防災対策を推進します。